

市町村名	渡嘉敷村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－①	渡嘉敷村観光総合推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－ア		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	本村への入域観光客数の増加を図るため、県内外で開催される観光イベント等での観光PR活動、各種広告媒体を活用した情報発信及び、増加する外国人観光客の受入体制の整備を行う。 (この事業は、平成28年度の「渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業」、「渡嘉敷村観光受入整備対応事業」及び「渡嘉敷村観光実施計画策定事業」を統合した事業である。)							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	73,734					
		(b) 予算現額	55,620					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 18,114					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	55,620					
	B. 執行済額		51,587					
	うち交付金充当額		41,269					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		92.7%					
	予算の状況の説明		第4回補正において、賃金職員の配置を計画していたが正規職員の配置による減額、また計画していたイベント参加旅費をOCVBが負担したことによる減額、委託業務の入札残により10, 988千円を減額し、第6回補正において、修学旅行キャラバン及びアイランダー出張旅費の精算による減額、渡嘉敷村観光総合推進プロジェクト委託業務の減額変更また労働者派遣個別契約の精査により7, 126千円を減額し合計18, 114千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	・渡嘉敷村観光推進プロジェクト委託業務(ロードマップ作成、観光振興計画策定、外国人指差し会話帳作成、多言語案内板作成、PRツール作成)	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	・PR活動への地域事業者派遣(マリンダイビングフェア:2人)	目 標	(2人派遣)	()	()	()		
		実 績	2人派遣					
	・「沖縄・離島情報」への広告掲載 20万部	目 標	(20万部)	()	()	()		
		実 績	20万部					
	・雑誌「マリンダイビング」付録ポスター作成 10万部	目 標	(10万部)	()	()	()		
		実 績	10万部					
	・外国語スタッフ配置2名	目 標	(2名)	()	()	()		
		実 績	1名					
	達成状況説明	・渡嘉敷村観光推進プロジェクト委託業務において、観光推進体制ロードマップの作成及び観光振興計画5ヶ年を策定した。また、インバウンド受入対策として多言語案内板を5ヵ所へ設置し、外国人受入指差し会話帳を作成し各事業者へ配布活用することが出来た。PRツールについては、渡嘉敷島MAP(日本語)50,000部、渡嘉敷島MAP(多言語)10,000部、PP袋20,000部、PPうちわ20,000部を作成し県外イベント11件・県内イベント3件へ参加しPR活動を行った。 ・東京で開催されたマリンダイビングフェアへ地元事業者からインストラクター2名を派遣し、専門的できめ細かなPR案内が出来た。 ・広告については、「沖縄・離島情報」へ広告掲載し20万部を発行し、雑誌「マリンダイビング」の付録ポスターを11万部作成し折り込みで10万部、1万部をイベントでPR配布した。 ・渡嘉敷島の最初の受入窓口となる那覇連絡事務所(船舶チケット売場)へ1人の外国人対応スタッフを11ヶ月間配置出来たが、渡嘉敷島でのスタッフについてはCIR(国際交流員)を配置し対応したため不要となった。						
	成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値(年度)	29年度	30年度	31年度
年間入域客数:132, 000人		目 標	()	(132,000人)	()	()	()	
		実 績		144,000人				
進捗状況説明		入域客数については、目標値の132,000人を9%上回り、実績値が144,000人と目標を達成することが出来た。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・閑散期である秋から冬にかけての誘客が課題となっている。 ・今年度は県外イベント11件・県内イベント3件へ参加し、観光客誘客・PRを実施したが、依然として知名度の低さを感じたことから継続的な事業展開が必要だと感じた。	・閑散期である秋から冬にかけての誘客のため、新規の観光メニュー開発が必要である。 ・知名度向上のため観光PRを継続的に展開していく必要がある。また、PRの際のイベントツールにおいては、常に最新の情報を掲載するよう工夫をし、更に知名度向上へ繋がるツール開発が必要である。
今後の取り組み方針		
・閑散期の新たな観光メニューとして陸域を活用したメニューの開発を検討するため、事業者等を対象にヒアリングを行う。 ・観光客向けの最新情報を発信し知名度向上を図るため、web、snsを活用した情報発信ツールの開発及び改良を検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
51,587	51,587	41,269	10,318	0

渡嘉敷村
51,587千円

旅 費
449千円

職員251千円
臨時職員等198千円

県内、県外イベントPR活動にかかる旅費

広告料
2,156千円

(株)林檎プロモーション406千円
(株)水中造形センター1,750千円

雑誌「沖縄・離島情報」への広告掲載と「マリンダイビング」への折込ダイビングMAP作成

委託料
48,572千円

(株)ライプス42,596千円
(株)琉球新報開発5,976千円

・渡嘉敷村観光総合推進プロジェクト委託業務
・労働者派遣個別契約委託業務

使用料
410千円

(株)水中造形センター
410千円

マリンダイビングフェア出展料

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考え る。 ○不要額は事業費の7%であり、ほぼ妥当な予算規模と考 える。 ○費目、使途については検査を実施しており、目的に即し必 要なものであったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－②	渡嘉敷村美化清掃事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ		
				観光客の受入体制の整備				
担当部課名	商工観光課		事業実施 （予定）年度	平成24年～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)		
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	27,435	11,303	9,680	9,680	9,680	
		(b) 予算現額	32,370	11,303	8,962	8,144	9,680	
		(c) 増減額 (b-a)	4,935	0	▲ 718	▲ 1,536	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	32,370	11,303	8,962	8,144	9,680	
	B. 執行済額		32,370	7,467	8,962	7,513	8,452	
	うち交付金充当額		25,898	5,974	7,170	6,009	6,761	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（％）(B/A)		100.0%	66.1%	100.0%	92.3%	87.3%	
予算の状況の説明		美化清掃員の体調不良及び天候不良等により植栽作業の時間が減少し、賃金756千円、共済費84千円、油脂燃料費76千円、緑化資材費312千円、計1,288千円の不用額が生じた。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				26年度	27年度	28年度	29年度	
	花木植栽8箇所実施 美化清掃8箇所実施		目 標	(8箇所)	(8箇所)	(8箇所)	(花木植栽8箇所 美化清掃8箇所)	
			実 績	8箇所	8箇所	8箇所	花木植栽8箇所 美化清掃8箇所	
達成状況説明	今年度は、渡嘉敷港旅客待合所、港の見える丘展望台、アラン展望台、照山園地、阿波連漁港、阿波連園地の公衆トイレの清掃や、渡嘉志久海岸公園及び照山園地の清掃・除草作業を周年実施した。また、数種類の花をプランターに植栽し渡嘉敷港旅客待合所、渡嘉志久海岸公園等に配置したが、天候不良等により植栽活動等が不十分であった。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	27年度	28年度	29年度	目標値 （30年度）
	花木植栽及び美化清掃により観光地として美しい景観を保つ		目 標	()	(美しい観光地 の形成)	(8箇所)	(美しい景観 を保つ)	()
			実 績		美しい観光地 の形成	8箇所	美しい景観 を保つ	
	【H30成果目標】 観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。		目 標	()	()	()	()	(80%以上)
	進捗状況説明	公衆トイレや園地の清掃・除草作業を通年実施することで、綺麗な状態を維持することができ、環境整備の行き届いた美しい観光地の形成につながった。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・観光客等による公衆トイレや園地の早朝利用が増え、美化作業と利用時間が重なることがあり、観光客等の利用を制限することがあった。 ・植栽場所によっては風が強い、日照が強い等、環境の違いで花もちが悪いことがある。 ・本事業による美化作業が、観光客にとって魅力的な景観形成にどの程度効果をあげているかを把握する必要がある。	・美化作業によって観光客等の利用に影響が出ないよう、美化作業の実施時間を検討する必要がある。 ・植栽箇所の環境を考慮した花木の選定などを行う。 ・観光客に対するアンケートにより、本事業で実施した美化作業等の効果を検証することが可能である。
今後の取り組み方針		
・作業箇所における観光客等の利用状況を踏まえ、利用制限が最小となるように作業スケジュールを編成する。 ・植栽箇所の環境及び機能を考慮したうえで、観光地としてのイメージアップに効果的な花木の選定を行う。 ・平成30年度事業から成果指標を見直し、観光客を対象にアンケート調査を実施し、美化作業等によって魅力的な観光地としての景観形成が図られているかを確認・検証する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）				
渡嘉敷村 8,452千円 賃金 6,804千円 共済費 967千円 需用費 681千円 燃料費 230千円 消耗品費 451千円 総事業費 8,452 交付対象事業費 8,452 交付金充当額 6,761 市町村負担金 1,691 交付対象外経費 臨時職員延べ5名分 臨時職員延べ5名分 業務車両2台及び草刈り機燃料 緑化資材・・・花・腐葉土・肥料				
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員は村内において公募により採用しており、妥当であったと考えている。 ○天候不良等による作業時間の減少に伴う減額が発生したが、予算規模は適正だったと考える。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	渡嘉敷村								
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	1-④	渡嘉敷村観光振興事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア				
					観光リゾート産業の振興				
担当部課名	商工観光課		事業実施 (予定)年度	平成 2 9 ～ 3 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)			
事業内容	修学旅行の誘致を図るため、修学旅行誘致・受入活動に取り組む村商工会の活動を支援する。 (この事業は、平成28年度の「渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業」から分離した事業である。)								
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度 (年度)								
実施方法	□ 直接実施 □ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他 ()								
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	8,800						
		(b) 予算現額	8,800						
		(c) 増減額 (b-a)	0						
		(d) 繰越額	0						
		A. 計 (b+d)	8,800						
	B. 執行済額		8,800						
	うち交付金充当額		7,040						
	次年度繰越額		0						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%						
	予算の状況の説明		予算については当初予算から増減なく100%の執行率となり適正な予算と考える。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況						
				29年度	30年度	31年度	32年度		
	修学旅行の誘客に係る提案資料(冊子、DVD)の作成	目 標	(実施)	()	()	()	()		
		実 績	実施						
	修学旅行誘致活動(関東・関西での修学旅行フェア出展)	目 標	(関東・関西)	()	()	()	()		
		実 績	関東・関西						
	県外旅行会社招聘2社	目 標	(2社招聘)	()	()	()	()		
		実 績	2社招聘						
	達成状況説明	・修学旅行の誘客に係る提案資料として、パンフレット及びDVDを作成した。 ・修学旅行誘致活動として、計画どおり「関東・関西」で誘致活動を行った。 ・県外旅行社の招聘については、計画どおり2社を招聘できた。							
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	29年度	30年度	31年度	目標値 (年度)
		修学旅行受入対応 13校	目 標	()	(13校)	()	()	()	()
実 績				13校					
旅行社招聘 2社		目 標	()	(2社招聘)	()	()	()	()	
		実 績		2社招聘					
進捗状況説明		・修学旅行の受入については目標どおり13校を受入できた。 ・旅行社の招聘については目標どおり2社を受入できた。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・旅行社の招聘については、今年度初めての実施であったが、実際に修学旅行生が行うシュノーケリングを事業者にも体験してもらい、事業者からは体験できたことが今後の営業活動に有意義であったとの感想が得られた。	・旅行社の招聘について、事業者に当村の魅力を発見・理解してもらい、今後の営業活動に役立ててもらうため、シュノーケリング以外の体験メニューを追加する必要がある。
今後の取り組み方針		
・旅行社の招聘について引き続き実施し、事業者に当村の魅力を理解してもらうことで、学校等に対する修学旅行の営業活動に役立ててもらう。また、今後は招聘した旅行社への聞き取りを強化し、招聘旅行を通して発見した当村の新たな魅力等を調査し、今後の観光PRへの活用を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
渡嘉敷村 8,800千円 補助金 8,800千円 渡嘉敷村商工会 8,800千円 誘客・受入に係る人件費、旅費、PRツール作成費 <table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>8,800</td><td>8,800</td><td>7,040</td><td>1,760</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,800	8,800	7,040	1,760	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,800	8,800	7,040	1,760	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は補助金交付要綱による商工会であることから、妥当であると考え。 ○実績報告を精査し妥当な予算規模と考える。 ○費目、使途については補助金交付要綱の目的に即し、必要なものであったと判断する。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村							
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－⑤	観光情報配信事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－(ア)				
				観光リゾート産業の振興				
担当部課名	船舶課	事業実施 (予定)年度	平成28～29年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)			
事業内容	観光客等の利便性を確保するため、観光情報等を港待合所等で効果的に発信できるようデジタルサイネージを導入、また、予約システムと連動したクレジット決済可能な発券・精算システムを構築する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(30 年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	24,030	25,434				
		(b) 予算現額	24,030	24,208				
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 1,226				
		(d) 繰越額	0	0				
		A. 計 (b+d)	24,030	24,208				
	B. 執行済額		20,390	24,208				
	うち交付金充当額		16,311	19,366				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率 (%) (B/A)		84.9%	100.0%				
	予算の状況の説明		委託の入札残分1,226千円について、減額措置を行った。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	観光情報発信用デジタルサイネージの導入	目 標	(4台)	()	()	()		
		実 績	4台					
	乗船券発券・精算(クレジット決済含む)システムの構築	目 標	(乗船券発券・精算システム構築)	()	()	()		
		実 績	乗船券発券・精算システム構築完了					
	達成状況説明	観光情報発信用デジタルサイネージの導入及び乗船券発券・精算システムの構築ともに完了した。なお当初交付決定段階においては、デジタルサイネージ3台を設置予定であったが、情報提供の効果等を勘案し4台に変更を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	29年度	30年度	31年度	目標値 (30年度)
	観光情報発信用デジタルサイネージ導入完了	目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
	乗船券発券・精算(クレジット決済含む)システムの構築完了	目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
	【平成30年度成果目標】 観光客等を対象にアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(確保されたとの回答割合80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	()	()	()	(80%以上)	
		進捗状況説明	デジタルサイネージの導入により、港待合所等で観光情報等の映像発信を実施することができるようになった。また予約システムと連動した乗船券の発券を行い、クレジット決済による精算にも対応可能となった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・本事業による取組が、観光客等の利便性確保にどの程度効果をあげているかを把握する必要がある。 ・デジタルサイネージにより発信される観光情報については、過去に製作された映像等が主体となっている。 ・乗船券発券・精算については、クレジットカード・電子マネー等、多様な精算方法に対応可能となっているが、繁忙期等においては依然として発券時に待ち時間が発生することが懸念される。	・観光客等に対するアンケートにより、本事業で実施した取組の効果を検証することが可能である。 ・デジタルサイネージで発信する観光情報の映像等について、コンテンツの充実が求められる。 ・繁忙期における乗船券発券時の更なる待ち時間短縮について、検討を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・機器の整備により、観光客等の利便性の確保を図ることが本事業の目的であり、実際に利便性が確保されたかを含め、当該施設のあり方についてのアンケート調査により事業効果の検証を行う。 ・商工会等と連携を図りながら、観光客の意見等を反映させた渡嘉敷村をPRする観光情報等のコンテンツ制作を実施する。 ・繁忙期等における乗船券発券時の更なる待ち時間短縮を図るため、当該システムの操作性向上等についても検討を行う。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>24,208</td><td>24,208</td><td>19,366</td><td>4,842</td><td>0</td></tr></table> 渡嘉敷村 24,208千円 → 委託料 24,208千円 → 株式会社創和ビジネス・マシズ 24,208千円 （渡嘉敷村観光情報配信事業構築業務）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	24,208	24,208	19,366	4,842	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
24,208	24,208	19,366	4,842	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企画コンペで内容を精査して選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当であったと考えている。 ○費目、使途については精算段階で完成検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村														
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】															
事業番号・事業名	1-⑥		渡嘉敷村景観計画策定事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(6)-ア						
									沖縄らしい風景づくり						
担当部課名	経済建設課			事業実施(予定)年度		平成29～31年度		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)					
事業内容	観光地として本村の豊かな景観資源の維持・保全を図るため、景観計画を策定する。														
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(32年度)														
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()														
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			29年度		30年度		31年度		32年度		33年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,400												
		(b) 予算現額	3,132												
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,268												
		(d) 繰越額	0												
		A. 計 (b+d)	3,132												
	B. 執行済額		3,132												
	うち交付金充当額		2,505												
	次年度繰越額		0												
	執行率 (%) (B/A)		100.0%												
予算の状況の説明		当初計画より事業執行の遅れが生じたため、予定事業を圧縮し執行した。予算は3月補正で2,268千円減額した。													
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)			達成状況											
					29年度		30年度		31年度		32年度				
	景観計画策定に向けた基礎調査の実施			目 標	(実施)		()		()		()				
				実 績	実施										
達成状況説明	・目標どおり達成できた。														
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)					基準値(年度)		29年度		30年度		31年度		目標値(32年度)	
	景観計画策定に向けた基礎調査の完了			目 標	()		(基礎調査の完了)		()		()		()		
				実 績			基礎調査の完了								
	【H32成果目標】魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客や村民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。			目 標	()		()		()		()		(80%以上)		
	進捗状況説明	・住民に対してアンケート調査を実施し、結果をパンフレットにして公表した。													

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・景観計画策定に向けた基礎調査として、住民意向調査（アンケート）を実施したが、回収率が低かった。 ※配布数395件、有効回収数110件（有効回収率：27.8％）	・次年度以降の景観計画の具体化にあたっては、住民の意向を取り入れるためにアンケート以外の方法でも意向を把握する必要がある。
今後の取り組み方針		
・村民ワークショップやパブリックコメントを実施することで景観計画策定に対する村民の理解を深めるとともに村民の意向の把握に努める。また、魅力的な観光地としての景観形成を目的とする事業であるので、観光客からの意見聴取及び計画への反映についても検討を行う。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
渡嘉敷村 3,132千円 → 委託料 3,132千円 → 株式会社都市科学政策研究所 3,132千円 〔 景観計画策定業務委託 〕														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>3,132</td><td>3,132</td><td>2,505</td><td>627</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	3,132	3,132	2,505	627	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
3,132	3,132	2,505	627	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は仕様書通りで適正な規模だと考えている。 ○費目・使途については完了検査を実施しており、目的に則し必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村						
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2－①	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	3章－3－(11)－ア			
				交通・生活コストの低減			
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成28～平成30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－9		
事業内容	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から渡嘉敷村へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を行う。						
効果発現年度	H○						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			28年度	29年度	30年度	31年度	33年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2,155	2,442			
		(b) 予算現額	2,104	2,442			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 51	0			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	2,104	2,442			
	B. 執行済額		2,104	2,252			
	うち交付金充当額		1,683	1,802			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（％）(B/A)		97.6%	92.2%			
	予算の状況の説明		予算については、県と連携をとり過去の実績を参考にしたが当初予算額より下回ることとなっているが、前年度（H28年度）と比較すると執行済額は多くなっている。				
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況				
	食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保険医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	目 標	（ 支援の実施 3店舗 ）	（ 支援の実施 3店舗 ）	（ ）	（ ）	
		実 績	支援の実施 3店舗	支援の実施 3店舗			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
	達成 状況 説明	本事業に登録された村内3店舗にて、沖縄県と渡嘉敷村より輸送経費等の支援を行った。					
	成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）		基準値 （ 28年度）	28年度	29年度	30年度
沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差 （沖縄本島を100とした場合の指数の縮小）		目 標	（ 価格差縮 小 ）	（ 価格差縮 小 ）	（ 価格差縮 小 ）	（ ）	（ ）
		実 績		124	114		
【H30成果目標】 沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差 （沖縄本島を100とした場合の指数 前年比-1.4ポイント）		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ 前年比 -1.4ポイント ）
進 捗 状 況 説 明		平成28年度の実績調査（124）と平成29年度の実績調査（114）では10ポイントの指数の縮小がみられた。 （沖縄本島を100とした場合）					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	沖縄県が行った「（事業開始後の）価格変化の実感度」の調査で「特に変化を感じない」との回答が60.7%と前回の結果（50%）を上回った。また、事業の認知度に関しても前年度より28%程下回っている（H28：77%→H29：49.3%）。 本事業の目的は離島における割高な生活コストの低減を図ることで、離島の定住環境の整備を行うというものであるが、本事業の認知度が低く、住民にとって生活コストの低減効果が実感されていないという結果となっている。	本事業の認知度を高め、住民に生活コストの低減効果を実感してもらうような取組が必要である。
今後の取り組み方針		
登録店舗の店内にポスター掲示や、ポップ表示をしてもらい、多くの住民に本事業を認知してもらう取組を行う。 また、本事業によって食品・日用品等の価格が下げられていることを住民にアピールするために、登録店舗にセール等の企画を検討してもらう。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>2,252</td><td>2,252</td><td>1,802</td><td>450</td><td>0</td></tr></table> 【渡嘉敷村】 補助額2,252円 補助 渡嘉敷村(直轄) 【航路事業特別会計】					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,252	2,252	1,802	450	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,252	2,252	1,802	450	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、船舶課のみとなるため妥当と考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、妥当と考えている。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、貨物運賃を適正に支援しているため妥当と考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											

市町村名	渡嘉敷村										
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	2－②		自動車航送コスト負担軽減事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		3章－3－(11)－ア		
									交通・生活コストの低減		
担当部課名	総務課			事業実施 (予定)年度		平成 2 8 ～平成 3 3 年 度		沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ－9	
事業内容	島民に対し、フェリーによる自動車輸送費への支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。										
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)										
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算 の 状 況				28年度	29年度	30年度	31年度	33年度		
			(a) 当初予算額		1,486	3,056					
			(b) 予算現額		3,215	4,066					
			(c) 増減額 (b-a)		1,729	1,010					
			(d) 繰越額		0	0					
			A. 計 (b+d)		3,215	4,066					
			B. 執行済額		3,215	4,066					
			うち交付金充当額		2,572	3,253					
			次年度繰越額		0	0					
			執行率 (％) (B/A)		100.0%	100.0%					
		予算の状況の説明		平成28年度の実績より利用予定台数を設定したが、利用者が多く当初予算を上回ったため補正増額をおこなった。							
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)				達成状況						
						28年度	29年度	30年度	30年度		
	自動車航送台数 ①軽自動車年間台数				目 標	(100)	(200)	()	()		
					実 績	311	433				
	自動車航送台数 ②普通乗用車年間台数				目 標	(100)	(200)	()	()		
					実 績	118	124				
	達成 状 況 説 明		軽自動車に関しては目標台数を大きく上回る結果となったが、普通乗用車に関しては目標台数以下ではあるが前年度実績よりは若干の台数増となっている。								
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)					基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度	目標値 (30年度)
		自動車航送運賃の低減による定住環境の改善				目 標	()	(改善する)	(改善する)	()	()
						実 績		改善された	改善された		
【H30成果目標】 沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。				目 標	()	()	()	()	(80%以上)		
進捗 状 況 説 明		年々利用者が増え沖縄本島での交通の確保がしやすくなったことと、本村には整備工場が無いため車検の為の利用者も増えていることから、定住環境の改善に繋がっていると思われる。									

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・無人での車両輸送（所有者等と一緒に乗船せず、車両のみを輸送するもの）の補助対象は車検整備を目的とするもののみとしているが、車検を伴わない修理等でも補助対象とできないかとの要望がある。 ・本事業による取組が、住民の定住環境確保にどの程度効果をあげているかを把握する必要がある。	・無人での車両輸送の対象を修理車両まで拡大可能か検討していく必要がある。 ・住民に対するアンケートにより、本事業で実施した取組の効果を検証することが可能である。
今後の取り組み方針		
・無人での車両輸送の対象の見直しにあたっては、中古車販売や廃車の扱いにも留意のうえ検討を行い、対象を拡大する場合は補助要綱等の改正を行う。 ・本事業による目的の達成状況を確認するため、住民へアンケート調査を実施し、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築がされているかを確認する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>4,066</td><td>4,066</td><td>3,253</td><td>813</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,066	4,066	3,253	813	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,066	4,066	3,253	813	0										
渡嘉敷村 【一般会計】 4,066円 渡嘉敷村航路事業 特別会計へ補助 補助 渡嘉敷村 【航路事業特別会計】 4,066円 1台当たり助成額 軽自動車 6,550円 乗用車 8,730円 半額（助成）分を 一般会計へ請求 【住民車両航送チケット購入】 利用総台数557台														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、船舶課のみとなるため妥当と考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、妥当と考えている。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、貨物運賃を適正に支援しているため妥当と考えている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											

市町村名	渡嘉敷村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2－③	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（11）－ア			
					交通・生活コストの低減			
担当部課名	総務課		事業実施 （予定）年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－9		
事業内容	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援することにより、島民及び来島者の利便性の確保を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2,079	3,300	3,300	3,300	3,300	
		(b) 予算現額	2,970	3,300	2,100	1,260	1,290	
		(c) 増減額 (b-a)	891	0	▲ 1,200	▲ 2,040	▲ 2,010	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	2,970	3,300	2,100	1,260	1,290	
	B. 執行済額		2,160	1,080	1,710	930	960	
	うち交付金充当額		1,728	864	1,368	744	768	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（％）(B/A)		72.7%	32.7%	81.4%	73.8%	74.4%	
予算の状況の説明		当初積算見込よりヘリコプターチャーター回数が減となることから2,010千円減額した。最終的にはヘリコプターチャーター回数がさらに減となったため330千円の不用が生じた。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				26年度	27年度	28年度	29年度	
	定期船欠航時のヘリコプターチャーター運賃の支援	目 標	(110回)	(110回)	(42回)	(110回)		
		実 績	42回	57回	31回	43回		
達成状況説明	定期船の欠航回数減に伴い、ヘリコプターチャーター利用回数が減となり、目標を下回る結果となった。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	27年度	28年度	29年度	目標値 （30年度）
	ヘリコプターチャーター利用者に対する運賃の負担軽減	目 標	()	(110回)	(42回)	(110回)	()	
		実 績			57回 175人	31回 99人	43回 142人	
	【H30成果目標】 沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目 標	()	()	()	()	(80%以上)	
		進捗状況説明	事業の実施により、観光客や住民の補完的交通手段として、今年度は142名の利便性確保を担った。しかし、本事業は村営定期船が欠航した場合のみに適用されるため、29年度は天候に恵まれたこともあり、補助回数は目標を下回る結果となった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・住民にアンケートを行ったところ、本事業の認知が十分にされていないことが判明した。	・本事業の認知度向上を図るため、周知が必要である。
今後の取り組み方針		
・住民や観光客に「渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業」のさらなる周知を図るため、各交通機関への周知協力や、村ホームページ等での周知を行う。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>1,290</td><td>960</td><td>768</td><td>192</td><td>330</td></tr></table> 渡嘉敷村 960千円 補助金 960千円 エクセル航空 (株) 960千円 （ 運航経費 ） （ 対象外経費 330千円 ）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,290	960	768	192	330
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,290	960	768	192	330										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、エクセル航空(株)の1社のみが事業者として参入しているため妥当と考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、これまでの船舶欠航実績等により算出しているため妥当と考える。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、運航経費の半額を適正に補助している。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業実績に基づき必要なものに限定されていると考える。											

市町村名	渡嘉敷村						
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3－①	小学校学習支援員配置事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(11)－イ			
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施 (予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
					Ⅲ－3－(1)		
事業内容	児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図るため、村立小学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	3,744	4,644	2,444	4,496	5,210
		(b) 予算現額	4,419	4,644	2,392	3,100	3,287
		(c) 増減額 (b-a)	675	0	▲ 52	▲ 1,396	▲ 1,923
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	4,419	4,644	2,392	3,100	3,287
	B. 執行済額		3,965	1,431	2,309	2,643	2,526
	うち交付金充当額		3,172	1,144	1,847	2,114	2,021
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		89.7%	30.8%	96.5%	85.3%	76.8%
予算の状況の説明		渡嘉敷小学校及び阿波連小学校にそれぞれ2名ずつを採用する計画であったが、渡嘉敷小学校においては1名は4月から、もう1名は6月からの配置となり、また阿波連小学校においては1名の配置にとどまり、不用額761千円となった。また、当初予算額と予算現額との差額は、阿波連小学校において計画の2名から1名の配置に留まったこと及び、配置する支援員の住宅借り上げ料が不用となったことによる。なお、住宅借り上げ料1,440,000円含む不用額1,923,000円は12月に補正減とした。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	学習支援員配置 渡嘉敷小学校 2名 阿波連小学校 2名	目 標	(2名)	(2名)	(3名)	(4名)	
		実 績	2名	2名	3名	3名	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	渡嘉敷小学校へは4月から12月まで1名、6月から3月までもう1名の配置となり、目標としていた年間を通して2名の配置ができなかった。阿波連小学校へは4月から3月まで1名のみの配置となった。 学習支援員の配置により、複式学級である渡嘉敷小学校の3・4年、5・6年及び、阿波連小学校の3・4年、5・6年の算数と国語の授業や、他の支援を要する学級で授業を支援したことで、児童の学力向上や教職員の負担軽減が図られた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値 (年度)	27年度	28年度	29年度	目標値 (年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との全体の平均正答率の差+8.6%以上	目 標	()	()	()	(8.6%以上)	()
		実 績				9.4%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	目標値の沖縄県学力到達度調査における県と村との全体の平均正答率の差+8.6%を上回る+9.4%を達成できた。 平成29年度の到達度調査の結果(平均正答率)は、小3国語(村72.2%、県70.4%)、小3算数(村89.9%、県80.2%)、小4算数(村62.1%、県59.0%)、小5国語(村76.4%、県66.6%)、小5算数(村68.6%、県55.1%)、小5理科(村69.5%、県55.6%)、小6算数(村79.4%、県65.7%)である。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	計画人員の確保が出来ず、十分な支援態勢を構築できなかった。	学級担任との連携を図りながら個に応じた指導を充実させるため、支援員の確保に努める。
今後の取り組み方針		
配置している学習支援員の継続意思確認を行い、不足人員については積極的に情報を収集し学習支援員の確保に努め、当該事業を実施することで児童の学力向上を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>2,526</td><td>2,526</td><td>2,021</td><td>505</td><td>0</td></tr></table> 渡嘉敷村 2,526千円 賃金 2,526千円 渡嘉敷小学校（2名） 1,472千円 〔 学習支援員 〕 阿波連小学校（1名） 1,054千円 〔 学習支援員 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,526	2,526	2,021	505	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,526	2,526	2,021	505	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・選定は有資格者、経験者を採用しており妥当であったと考える。 ・当初計画していた支援員4人のうち3人の配置に留まり、不用額が生じた。 ・費目・使途については、実績に基づいており適正であったと考える。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3－②	児童・生徒派遣支援事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－5－（2）－ア			
					教育機会の拡充			
担当部課名	教育委員会 教育課		事業実施 （予定）年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－3－（1）		
事業内容	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会（県大会や全国大会等）に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	1,992	2,477	3,269	2,861	2,565	
		(b) 予算現額	1,992	2,477	3,269	2,861	1,397	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	▲ 1,168	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	1,992	2,477	3,269	2,861	1,397	
	B. 執行済額		1,455	1,910	2,220	2,317	1,221	
	うち交付金充当額		1,164	1,528	1,776	1,215	977	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（％）(B/A)		73.0%	77.1%	67.9%	81.0%	87.4%	
	予算の状況の説明		台風の影響による派遣中止4件、途中切り上げ1件等による減額1,168千円及び、派遣取り止め3件等による不用額176千円となった。					
	活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度		
各種スポーツ大会及び文化活動派遣 （小学校2校・中学校1校） 派遣児童・生徒数（累計）：227人		目 標	（ 3校 ）	（ 3校 ）	（ 3校 ）	（ 227人 ）		
		実 績	3校	3校	3校	159人		
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成 状況 説明		荒天による船舶の欠航により派遣を取り止めた大会があったことなどにより、派遣できなかった大会もあった。 離島小規模校の渡嘉敷小学校、阿波連小学校及び渡嘉敷中学校の児童・生徒が、村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことができた。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況		H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度 ）	27年度	28年度	29年度
	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 80% ）	（ ）	
		実 績				98%		
	【参考指標】 派遣児童・生徒（累計）：222人	目 標	（ ）	（ 210人 ）	（ 222人 ）	（ 227人 ）	（ ）	
		実 績		173人	185人	159人		
	【H30成果目標】 対象児童生徒の視野が広がったかどうか（80%以上）を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ 80%以上 ）	
進 捗 状 況 説 明	保護者へのアンケート調査において、3校の児童・生徒が、村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことができたと回答した割合は98%（49人/50人）であった。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	スポーツ大会へ派遣をしても早期に敗退してしまい、児童生徒が派遣による十分な経験を積みなかったケースがあった。	派遣した大会等で早期に敗退してしまった場合でも、児童生徒が島内ではできない様々な経験をできるよう、派遣内容の検討・充実が必要である。
今後の取り組み方針		
派遣した大会等で早期に敗退してしまった場合でも児童生徒が十分な経験を積めるよう、大会前後にあらかじめ練習試合等を設定しておき、児童生徒の競争や交流機会の確保を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>1,998</td><td>1,221</td><td>977</td><td>244</td><td>777</td></tr></table> 渡嘉敷村 1,221千円 補助金 1,221千円 阿波連小学校 137千円 渡嘉敷小学校 149千円 渡嘉敷中学校 935千円 船舶運賃、宿泊費 車両航送運賃 船舶運賃、宿泊費 船舶運賃、宿泊費 交付対象外経費 777千円 うち児童生徒負担金 329千円 うち村単費分 448千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,998	1,221	977	244	777
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,998	1,221	977	244	777										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各学校による補助申請に対し補助をおこなっているため妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は適正な規模で確保されており、台風などの影響もあったものの妥当であったと考える。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程により負担しており、妥当であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、真に必要なものか等について、額の確定時に支出等に関する書類により確認、適正であったと考える。											

市町村名	渡嘉敷村							
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3－③	家庭教育支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(11)－(イ)		
						教育機会の拡充		
担当部課名	渡嘉敷村教育委員会 教育課		事業実施 (予定)年度	平成28～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－3－(1)		
事業内容	村内に在籍する小学5年生から中学3年生を対象とし、Web会議システムを用いたオンライン双方向授業による学習塾を実施することで、沖縄本島や本土と同等の学習環境を整備し、子ども達の学力の向上を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	8,660	14,638				
		(b) 予算現額	4,294	7,976				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 4,366	▲ 6,662				
		(d) 繰越額	0	0				
		A. 計 (b+d)	4,294	7,976				
	B. 執行済額		4,294	6,393				
	うち交付金充当額		3,435	5,114				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	80.2%				
予算の状況の説明		・当初は渡嘉敷村単独での事業実施を計画していたが、座間味村と連携して実施することとなり、授業料等が按分することとなったため、当初予算額からの大幅減額となった。 ・不用額については、未実施の授業等が発生したためである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	小学校5年(国語・算数) 80授業 小学校6年(国語・算数) 80授業 中学校1年(数学・英語) 80授業 中学校2年(数学・英語) 80授業 中学校3年(数学・英語・国語) 120授業		目 標	(368授業)	(440授業)	()	()	
			実 績	234授業	321授業			
達成 状 況 説 明		・小学校6年(国語)と中学校3年(国語)の受講希望者がいなく実施できなかったことや、学校行事や地域行事等への参加のため休講となることがあったため、当初予定していた授業回数を下回った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度	目標値 (年度)
			目 標	()	()	(-8.4点以内)	()	()
	学習塾で実施される期末テストにおいて、全国と本村との平均点の差-8.4点以内とする。		実 績		-8.4点	-11.7点		
	進捗 状 況 説 明		・全国平均点を目標に取り組んだが、昨年度よりも差がひらく結果となってしまった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（授業数） ・実績数としては昨年度より増えたが、時間割に組み込んだものの受講希望者がいない教科（国語）等で休講となることがあった。 （全国平均点との差） ・今年度は各学校との調整も行い、学校での授業内容を復習するようなカリキュラムを取り入れ実施したことで、全国模試にも対応した応用的な学習が少なくなってしまうことが目標を下回った原因と考えられる。	（授業数） ・休講数を減らすために、児童生徒や保護者の希望に沿った時間割を編成する必要がある。 （全国平均点との差） ・授業カリキュラムを見直し、学校の復習だけでなく、応用的な学力の向上にもつながるようなカリキュラム構成を検討する。
今後の取り組み方針		
（授業数） ・学習塾の時間割編成前に、参加希望者及び保護者に対して説明会や希望調査を行い、児童生徒等の希望に沿った時間割を編成することで積極的な授業参加を促し、休講数を減らす。 （全国平均点との差） ・委託事業者と学校関係者との協議の場を設定し、学校授業の復習と応用的な学力向上の双方に効果的な授業カリキュラムとなるよう改善を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>6,976</td><td>6,393</td><td>5,114</td><td>1,279</td><td>583</td></tr></table> 渡嘉敷村 6,393千円 委託料 6,393千円 (株)フィオレ・コネクション 6,393千円 キャンセルに係る授業料 （交付対象外経費） 583千円 オンライン学習塾の運営 ・講師の選定 ・使用機器の選定 ・システムの構築 ・現場支援員の確保、指導					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,976	6,393	5,114	1,279	583
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,976	6,393	5,114	1,279	583										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は企画提案募集で選定しており、妥当である。 ・執行額は当初予算額より減となっているが、座間味村との連携事業、授業数の減に伴うものであり、当初計画における予算規模については適正な規模である。 ・現在、受益者負担はテキスト代のみとなっているが、事業の定着等を考えると妥当である。今後は事業継続のためにアンケート調査を実施し、授業料等の負担も視野に入れ検討する必要がある。 ・費目、使途については精算段階で検査を実施しており、事業目的達成のために必要、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3－④	学校ICT活用指導支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(2)－ア		
担当部課名	教育課	事業実施(予定)年度	平成28～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	学校においてICT機器を整備し、分かりやすい授業を行うことで、学校教育の質の確保を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,346	18,404				
		(b) 予算現額	9,882	18,144				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,464	▲ 260				
		(d) 繰越額	0	0				
		A. 計 (b+d)	9,882	18,144				
	B. 執行済額		9,882	18,144				
	うち交付金充当額		7,891	14,515				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%				
	予算の状況の説明		不用額が260千円発生しているが、入札残によるものであり、補正減額した。 当初計画していた事業内容は全て実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	タブレットパソコン整備	目 標	(20台)	(36台)	()	()		
		実 績	22台	39台				
	学習支援ソフト整備	目 標	(1校)	(2校)	()	()		
		実 績	1校	2校				
	電子黒板及び周辺機器整備 中学校LAN整備	目 標	(7台)	(3台)	()	()		
		実 績	8台	3台				
	教師向け講習会	目 標	(1回)	(1回)	()	()		
		実 績	1回	1回				
	達成状況説明	・タブレットパソコンの整備台数の増は児童生徒在籍数増による。 ・学習支援ソフトの整備、電子黒板及び周辺機器の整備、教師向け講習会は予定通り行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)			28年度	29年度	30年度	31年度	目標値(年度)
	児童・生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	目 標	()	(80%以上)	()	()	()	
		実 績		94%				
	【参考指標】 児童・生徒数:分かりやすかったと答えた数	目 標	()	(78人)	()	()	()	
		実 績		74人				
	進捗状況説明	アンケート調査の結果、目標である80%を上回る94%の児童・生徒より、ICT機器を活用した授業がわかりやすかったとの回答を得られた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○アンケートの結果、調べ学習には積極的に活用されているが、自分の意見や発表をまとめる作業では上手く活用出来ていない状況が見受けられる。 ○教員へのアンケートの結果、機材使用への抵抗はないが、機材の管理や準備について工夫が必要だと認識されている。	○児童生徒が自分の意見や発表をまとめる作業でもICT機器を上手く活用できるよう、活用方法を検討し、レクチャーする取組が必要である。 ○教員による機材の管理や準備について、機材等の管理運用方針策定が必要である。
今後の取り組み方針		
○児童生徒がICT機器を活用できている調べ学習とうまく活用できていないまとめ作業の橋渡しをするような授業を設定し、まとめ作業においても機器を活用した効果的な授業を行う。 ○教員による機材等の管理運用方針の策定に向け、意見交換の機会を設定する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>18,144</td><td>18,144</td><td>14,515</td><td>3,629</td><td></td></tr> </table> 渡嘉敷村 18, 144千円 → 委託料 18, 144千円 → (株)興洋電子 18, 144千円 タブレットパソコンの導入 学習支援ソフトの導入 電子黒板及び周辺機器の導入 教師用講習会					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	18,144	18,144	14,515	3,629	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
18,144	18,144	14,515	3,629											
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札にて選定しており妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業内容に見合った適正な規模で確保されており妥当であったと考える。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4	歴史文化資産保存活用事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-(ア)		
担当部課名	渡嘉敷村教育委員会 教育課	事業実施 （予定）年度	平成29～31年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる 環境づくり		
事業内容	修学旅行生や村民が学べる機会を増やすとともに、観光資源としての活用を図るため、沖縄戦史等の資料を整理・作成し、平和学習等に活用する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（32年度）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	8,525					
		(b) 予算現額	4,968					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,557					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	4,968					
	B. 執行済額		4,968					
	うち交付金充当額		3,974					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		不用額が3, 557千円発生しているが、入札残によるものであり、補正減額した。 当初計画していた事業内容は全て実施した。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	歴史文化資産概要把握実態調査	目 標	（ 50ヶ所 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	50ヶ所					
	聞き取り調査	目 標	（ 50件 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	39件					
	達成 状況 説明	・歴史文化資産概要把握実態調査については、目標のとおり実施することができた。 ・聞き取り調査について、調査依頼は77件行ったが、辞退等があり実際にお話を伺えた方は39件と目標値に届かなかった。戦争体験という特殊な内容の聞き取り調査となるためアプローチや調査の仕方について検討する必要があると考える。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	29年度	30年度	31年度	目標値 （32年度）
	調査票カードの作成（実地調査）	目 標	（ ）	（ 50ヶ所 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		50ヶ所				
	調査票カードの作成（聞き取り調査）	目 標	（ ）	（ 50件 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		39件				
	村の立体模型の作成	目 標	（ ）	（ 1式 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		1式				
	【H32成果目標】 ①資料を活用し、平和学習会等を実施した修学旅行学校数 3校 ②資料を活用した学習会への参加人数 50名		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ 3校 50名 ）
進 捗 状 況 説 明	・調査票カードの作成については「実地調査」は目標通り達成することができたが、「聞き取り調査」については調査依頼は77件行ったが、辞退等があり実際にお話を伺えた方は39件と目標値に届かなかった。 ・村の立体模型は当初の予定通り作成することができた。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（歴史文化資産概要把握実態調査） ・29年度は集落周辺の文化財等を中心に調査を実施したが、今後の調査対象には山間部で伐開が必要となる場所、海岸部からしかアプローチできない場所等があり、実地調査が困難となることが想定される。 （聞き取り調査） ・戦争体験という特殊な内容であり、調査対象者にとってはつらい過去を語ることから聞き取り調査を辞退をされる方がいた。	（歴史文化資産概要把握実態調査） ・文化財等の事前確認を行い、有効的な踏査方法について検討してから本調査に望む。 （聞き取り調査） ・調査対象者への依頼方法やアプローチの仕方、調査方法の見直しを行う。
今後の取り組み方針		
（歴史文化資産概要把握実態調査） ・文化財等が所在する現地に詳しい地元の方等から事前確認等を行い、有効的かつ安全で確実な調査が実施できるように取り組む。 （聞き取り調査） ・調査依頼についても本人だけでなく、家族を対象にアプローチをすることや調査の意義を丁寧に説明すること、また、調査時の時間や場所にも留意しながら対象者の方の心情を第一に取り組む。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>4,968</td><td>4,968</td><td>3,974</td><td>994</td><td>0</td></tr></table> 渡嘉敷村 4,968千円 → 委託料 4,968千円 → (株)沖縄文化環境研究所 4,968千円 （ ・歴史文化資産概要把握実態調査 ・戦争体験聞き取り調査 ・村の立体模型作成 ）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,968	4,968	3,974	994	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,968	4,968	3,974	994	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算内で事業遂行できたので、適正な規模であったと考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を行っており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村								
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	５－①	渡嘉敷村総合防災体制構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－(イ)			
担当部課名	総務課		事業実施（予定）年度	平成29～32年度		災害に強い県土づくりと防災体制の強化			
				沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ－10－(2)			
事業内容	災害時において村民及び観光客等の安全性を確保するため、避難所情報等をまとめたポータルサイトを構築し、本村のホームページで公開する。								
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（31年度）								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）								
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			29年度	30年度	31年度	32度	33年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	25,941						
		(b) 予算現額	25,552						
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 389						
		(d) 繰越額	0						
		A. 計 (b+d)	25,552						
	B. 執行済額		25,552						
	うち交付金充当額		20,442						
	次年度繰越額		0						
	執行率（％）(B/A)		100.0%						
予算の状況の説明		平成29年12月補正において、委託の入札残389千円を減額した。最終予算については、事業計画どおり執行を行った。							
活動目標（指標）及び達成状況	H29活動目標（指標）			達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度		
	避難所台帳の作成	目 標	(10箇所)	()	()	()	()		
		実 績	10箇所						
	地区別防災カルテの作成	目 標	(3地区)	()	()	()	()		
		実 績	3地区						
	防災情報GISの構築	目 標	(防災情報GISの構築)	()	()	()	()		
		実 績	防災情報GISの構築						
	達成状況説明	・避難所台帳の作成については、村内10箇所の避難所について諸元（規模や機能等）を整理し、基礎資料となる台帳を作成した。 ・地区別防災カルテの作成については、村内3地区（渡嘉敷・渡嘉志久・阿波連）の災害危険度を整理し、避難計画や避難所を見直すための基礎資料となるカルテを作成した。 ・防災情報GISの構築については、住民や観光客が、インターネットに接続された端末から防災関連情報を確認することができる地理情報システムを構築した。							
	成果目標（指標）及び進捗状況	H29成果目標（指標）				基準値（ 年度）	29年度	30年度	31年度
避難所台帳の作成完了		目 標	()	(完了)	()	()	()	()	
		実 績			完了				
地区別防災カルテの作成完了		目 標	()	(完了)	()	()	()	()	
		実 績			完了				
防災情報ポータルサイトの構築完了		目 標	()	(完了)	()	()	()	()	
		実 績			完了				
【H31成果目標】 観光客等が参加する避難訓練時において、津波・土砂災害避難計画や公開された防災情報を活用することで、安全性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。		目 標	()	()	()	()	()	(80%以上)	
進捗状況説明		・避難所台帳の作成完了については、計画どおり完了した。 ・地区別防災カルテの作成完了については、計画どおり完了した。 ・防災情報ポータルサイトの構築完了については、計画どおり完了した。 ・全事業の完了年月日は平成30年3月となった。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（全事業の作成・構築完了について） ・災害発生時に住民や観光客等が利用するための防災情報ポータルサイトを構築した。実際に災害が発生した際、住民等が安全を確保するために当該サイトを活用することが課題となる。	（全事業の作成・構築完了について） ・平常時より住民等に防災情報ポータルサイトを認知してもらい、災害発生時には当該サイトを活用できるよう利用方法を身に付けてもらう必要がある。
今後の取り組み方針		
（全事業の作成・構築完了について） ・住民等に防災情報ポータルを認知してもらい、活用方法を習得してもらうため、当該サイトを活用した避難訓練を実施する。また、ポータルサイトの充実を図るため、引き続き避難場所や避難ルート、危険箇所等の防災関連情報の追加・更新を進め、ポータルサイト活用方法と合わせて情報発信を強化する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>25,552</td><td>25,552</td><td>20,442</td><td>5,110</td><td>0</td></tr></table> 渡嘉敷村 25,552千円 → 委託料 25,552千円 → 琉球国際航業 株式会社 25,552千円 〔 渡嘉敷村総合防災体制構築業務 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	25,552	25,552	20,442	5,110	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
25,552	25,552	20,442	5,110	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	△	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザルにより選定したが、参加及び提案者が1者であったことから、公募方法・期間に改善が必要と考える。契約については、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により、企画提案方式等、業務の内容が入札に適さないと判断し随意契約とした・											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率は100%であり、予算規模は事業内容に見合った適正な規模であった。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	５－②	避難道整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－(４)－(イ)			
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化			
事業内容	津波等の災害発生時に、住民等が高台へ素早く避難できるようにし、安全の確保を図るため、避難道等の整備を行う。 ・避難道(階段)を、渡嘉敷地区に2箇所、阿波連地区に1箇所設置。 ・各地区に、避難場所案内板を5箇所、誘導標識を10箇所設置。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(30 年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			29年度	30年度	31年度	32度	33年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	51,000					
		(b) 予算現額	49,950					
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,050					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計(b+d)	49,950					
	B. 執行済額		49,950					
	うち交付金充当額		39,960					
	次年度繰越額		0					
	執行率(％)(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		平成29年12月補正において、工事の入札残1,050千円を減額した。最終予算については、事業計画どおり執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	波左間避難道路:L=130m整備工事	目 標	(L=130m 整備工事)	()	()	()	()	
		実 績	L=130m 整備工事					
	村道阿波連線東避難道路:L=13m整備工事	目 標	(L=13m 整備工事)	()	()	()	()	
		実 績	L=13m 整備工事					
	クミチジ山避難道路:L=68m整備工事	目 標	(L=68m 整備工事)	()	()	()	()	
		実 績	L=68m 整備工事					
	達成状況説明	・波左間避難道路:L=130m整備工事については、目標どおり避難道路L=130mの整備がなされた。 ・村道阿波連線東避難道路:L=13m整備工事については、目標どおり避難道路(階段)L=13mの整備がなされた。 ・クミチジ山避難道路:L=68m整備工事については、目標どおり避難道路L=68mの整備がなされた。						
	成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値(29年度)	29年度	30年度	31年度
波左間避難道路の整備工事		目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
阿波連線東避難道路の整備工事		目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
クミチジ山避難道路の整備工事		目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
【平成30年度成果目標】 村民及び観光客が参加する避難訓練時の避難に要する時間の短縮 (整備前24分→整備後20分以内)		目 標	(24分)	()	()	()	(20分以内)	
進捗状況説明		・各避難道路の整備工事については、計画どおり完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(各避難道路の整備工事) ・夜間の避難を想定し、避難道路等への照明設置の必要性が課題となった。 ・避難道路の整備は完了したが、本事業の効果としてどの程度避難の迅速化されたか確認できていない。	(各避難道路の整備工事) ・照明の必要性について、災害は場所や時間、天候を問わず発生することから、避難道路の整備完了時期とあわせ、村の単独事業にて照明の設置を実施した。また、集落等から避難道路までの経路に、照明が不十分な場所もあることから、照明設備の追加設置を検討する必要がある。 ・整備が完了した避難道路を活用し、実際にどの程度避難が迅速化されたか計測するとともに、住民等が避難道路を問題なく活用できるか検証する必要がある。
今後の取り組み方針		
(各避難道路の整備工事) ・集落等から避難道路までの経路について、照明の追加設置を引き続き検討のうえ適宜整備を行い、各地区から一時避難場所までの安全性の確保を図る。 ・本事業の効果を測定するため、避難道路を活用した避難訓練を実施し、避難の迅速化が図られたかを計測する。また、訓練結果を踏まえ、迅速かつ安全な避難経路の確保に向け更なる改善点を検証する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
49,950	49,950	39,960	9,990	0

渡嘉敷村
49,950千円

工事請負費
49,950千円

株式会社 東信興建
49,950千円

渡嘉敷村避難道整備及び
避難場所案内板設置工事

資金 使途の 流れ、 点検、 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約については、指名競争入札において落札者がなく、また、再度の入札においても落札者がないことから、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号により随意契約とした・ ○執行率は100%であり、予算規模は事業内容に見合った適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村							
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－4－(1)－ア			
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成29～31年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進			
事業内容	3市村(渡嘉敷村、南城市、伊江村)の高校生が海外の人と交流し広い視野を獲得することを目的に、アジア諸国の中高生を沖縄に招聘し、寝食を共にしながら交流研修プログラム(約3週間)を実施する。							
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)							
実施方法	□ 直接実施 □ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000					
		(b) 予算現額	10,000					
		(c) 増減額(b-a)	0					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計(b+d)	10,000					
	B. 執行済額		9,775					
	うち交付金充当額		7,819					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		97.8%					
予算の状況の説明		当初予定していた事業内容は全て実施しており、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であった。ミャンマーからの参加予定者が、国の政策により、渡航不可となってしまった為、不用額(225千円)が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	研修プログラムの実施(約3週間)	目 標	(研修実施)	()	()	()	()	
		実 績	研修実施					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	達成状況説明	・アジア諸国より22名、国内より24名(うち本村出身者の参加なし)、計46名の高校生が参加し、8月5日から19日までの15日間の日程で本プログラムを実施した。 ・プログラムの様子は、テレビ局(QAB)でも紹介され、広く村民にも周知できた。 ・業務完了報告書(100部)を作成し、国、県、3市村の関係機関や、国内参加者と参加者が属している高等学校等にも配布し、生徒のプログラム参加の際の活動内容を報告した。						
	成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値(年度)	29年度	30年度	31年度
国際感覚豊かな人材の育成:50名(プログラム参加者)		目 標	()	(50名)	()	()	()	
		実 績		46名				
【H31成果目標】生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。		目 標	()	()	()	()	(80%以上)	
進捗状況説明		・県外参加者を12名招聘する予定であったが、実行委員会で協議の結果、3市村の参加学生を増やすことになり、3市村の姉妹都市等に絞って学生を招聘することとなった。その結果、宮崎県高千穂町から2名の参加となった。 ・本事業は3市村が広域連携で実施しており、協働で人材育成を行う事業である。今年度は渡嘉敷村からのプログラム参加はなかったが、事業としては問題なく実施され、3市村の高校生を育成するという目的に沿った支出となっている。 ・アジアからの参加者については、26名を招聘する予定であったが、実行委員会で協議の結果、国内参加者と同数の24名(12ヶ国から各2名)を招聘することとした。ミャンマーについては、政府の方針により未成年だけでの渡航許可が下りない等不測の事態がおき、2名減の22名の参加となった。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・海外参加者については、文化、風習、宗教、生活習慣等が異なるため、本国滞在中の心のサポートを充実させる必要がある。 ・海外参加者家族の不安を取り除くため、子どもが安全・安心に過ごしていることを伝える必要がある。 ・海外参加者のビザ取得の遅れなどがあり、参加が危ぶまれるケースがある。 ・本村出身の高校生が少数のため、本研修への参加者確保が課題となっている。	・安心・安全なプログラムを考慮し、緊急時の対応、連絡体制、休憩時間の設定、宿泊施設等の環境改善などに充分配慮する。看護師やチューター（大学生等）を配置し、参加者のサポートを行っているが、心のサポート強化する必要がある。 ・研修風景や生活状況などの写真をInstagramなどのSNSへこまめにアップし、子ども達が安心・安全に過ごしていることを伝える必要がある。 ・ビザ発給の遅れなどに対応できるよう、早めの手続き開始や事務の効率化などを図る必要がある。 ・本村出身の高校生の参加者を確保するため、参加呼びかけの周知を行うと共に、対象者高校生本人と父母に直接会って参加呼びかけを行う。
今後の取り組み方針		
・安心・安全なプログラムを考慮し、緊急時の対応、連絡体制、ドクターヘリの要請等の事前確認やマニュアルを作成する。看護師の24時間帯同を義務づけ、暑さ対策、休憩時間の設定、宿泊施設等の環境改善などに充分配慮する。また、参加者の心のサポートを強化するため、チューターの人数を増員し、スタッフやOB・OG等も含めた全体的なサポートを行える体制を構築する。 ・研修風景を記録する係を設け、SNS等で写真をこまめにアップし、情報発信の強化を図る。 ・海外参加者の研修期間を、ビザ取得の要らない2週間以内に変更し、全員が参加できるようにする。 ・本村出身の高校生を対象に、これまでのプログラムに参加したOB・OGの講義や交流の時間を設け、参加意欲を高めることで本村からの参加者を確保する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,775</td><td>9,775</td><td>7,819</td><td>1,956</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 渡嘉敷村 9,775千円 → 補助金 9,775千円 → アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業 実行委員会 9,775千円 → 事務費 305千円 NPOレキオウイングス (株)沖縄ツーリスト (コンソーシアム) 9,470千円 共済費、賃金、需用費 役務費 アジアユース人材育成・ ネットワーク形成事業補助 金					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,775	9,775	7,819	1,956	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,775	9,775	7,819	1,956	0										
資金 使途の 流れ、 点検、 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業委託先については、公募型プロポーザル方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○225千円の不用額が生じたが、当初計画していた事業内容は全て実施しており、適正であった。 ○費用、使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												